



事業名 セーフコミュニティ・プロジェクトin松原

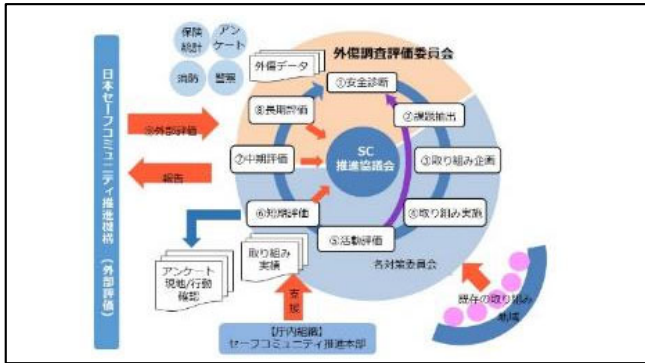


取組の概要

WHOが推奨する「セーフコミュニティ国際認証」に取り組む海外の地域と国際SCネットワークとして交流を図っています。セーフコミュニティとは「けがや事故は、偶然ではなく予防できる」という理念の下、様々なデータをもとに地域の安全診断を行い、設定した重点課題について住民と協働でPDCAサイクルを運営する取組です。世界で430以上、国内で17の自治体が導入しています。

また、本市では外国籍住民が年々増加傾向にあることから、市民の異文化理解の促進や国際感覚の醸成が求められており、セーフコミュニティをきっかけとした国際交流を行っています。

セーフコミュニティ国際認証 都市～松原SCと韓国SC～



本市は2011年にセーフコミュニティ活動を開始し、2013年、2018年に続き、2023年11月に3度目のセーフコミュニティ国際認証を取得しました。

国際認証審査員より「地域と協働で進めている松原市の予防活動や取組は非常に素晴らしいものであり、是非世界に発信していけるような機会を検討してほしい」との声をいただきました。そこで『アジア地域セーフコミュニティネットワーク』のメンバーである韓国のセーフコミュニティ推進自治体と取組に関する情報共有を図りながら、互いのセーフコミュニティ事業を推進することになりました。

今後のセーフコミュニティに関する取組を継続・発展させるために、担い手の育成や新たな視点をどのように受け入れ、盛り込んでいくかについて、行政・関係機関・地域のみなさんと共有・検討する手法を模索しました。

共通テーマ「安心安全なまちづくり」を海外地域と共に



「万博国際交流プログラムモデル事業」の一環である今回のプロジェクトでは、海外のセーフコミュニティに取り組むチームと、予防活動及び解決の方策について、情報共有や意見交換をしました。特に本市の取組当初から交流のある韓国のセーフコミュニティ支援センターに協力をいただき、韓国のセーフコミュニティチーム（8自治体）と交流を進めました。

第1弾ではセーフコミュニティ活動を進める行政職員のみなさん、第2弾では地域で活動するみなさんが来日しました。

国際認証であるセーフコミュニティに取り組む者同士、課題や成果、取組の良い点などについて学び合うよい時間を過ごしました。

本市のセーフコミュニティ活動を担う地域のみなさんにとって「活動を継続、発展させていきたい。」と“松原SC”の魅力を改めて実感できる機会となりました。

2025大阪・関西万博を契機 に新たな国際交流をスタート



2025年4月13日から開催される大阪・関西万博の「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマが「セーフコミュニティ」と親和性が高いことから実現した本事業を契機として、新たな国際交流をスタートします。

セーフコミュニティをきっかけとして始まった台北市文山区やオーストラリア、韓国との交流を深めていくことで、安全対策のさらなる向上に加え、次世代を担う青少年のセーフコミュニティ活動、国際交流活動を発展させていきます。

あわせて2025年2月の市制施行70周年記念事業の実施により、地域のみなさんがまちへの誇りや愛着を深め、将来につながる新たな一歩を踏み出す機会の展開を図っていきます。



問い合わせ先: 松原市 市民協働部 市民協働課

担当者: 北野

URL: <https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/1326530.ht>

Mail: kyodoka@city.matsubara.osaka.jp

360° EXPO 拡張マップ

松原市・内閣官房国際博覧会推進本部

SCプロジェクトin松原